

第12回「日本語大賞」

テーマ「心にひびいた言葉」

小学生の部 文部科学大臣賞 受賞作品

「おとうさんにもらったやさしいうそ」

茨城県

古河市立古河第二小学校

一年 佐藤 亘紀

特定非営利活動法人 日本語検定委員会

おとうさんにもらったやさしいうそ

古河市立古河第二小学校 小学一年

佐藤 亘紀(さとう・こうき)

ぼくのころにひびいたことは、
「おとうさんはちよつとおいとこ
ろでしごとをすることになったか
ら、おかあさんとげんきにすごし
てね。」です。そのときぼくは二さ
いでした。とても小さかったのでち
よくせついわれたのはおぼえていま
せんが、いつてくれたときのどうが
がおかあさんのスマホにいまでもの
こつているので、すきなときにきく
ことができます。

このふつうにおもえることばがほ
くのころにひびいたりゆうは、じ
つはこれがおとうさんがついたらそ
だったからです。このことばの一し
ゆうかんごに、おとうさんははつけ
つびようでしんでしまいました。そ
して、このことばをおとうさんがの
こしたのはびようきがわかってにゆ
ういんした日でした。おとうさん
は、あえないあいだにぼくがかなし
まないように、わざとうそをつき
ました。うそはふつうよくないけど、
これは、おとうさんがぼくのため
につけてくれたやさしいうそだと
おもいます。このことばをどうがで
きくと、おとうさんにあつてみた
くてすこしかなしいきもちになり
ます。でもかなしいだけじゃなくて
かなしませないようにうそをついて

くれたおとうさんのやさしさを
もつて「がんばろう！」とおもえま
す。おとうさんがしんでしまったこ
とはしつているけど、おとうさんの
うそがほんとうになって、いつかよ
るおそくにドアのまえで「ドアをあ
けて。かえつてきたよ。」といつてい
るおとうさんにあいたいです。こう
おもえるのも、おとうさんのやさ
しいうそのおかげです。

ぼくからおとうさんにつたえた
いことがあります。「おとうさん、
うそがばれてるよ！ だつてまわり
にびよういんのどうぐがいっぱいあ
るし、おとうさんがよこになってい
るし、めからなみだがちよつとだけ
でているし、こえがさびしそうだか
ら。」でもぼくは、だまされている
ふりをしつづけようとおもいま
す。

おとうさんがやさしいうそをつ
いてくれたおかげで、ぼくのころ
はつよくなれています。これからも
おとうさんのことばをまもつてお
かあさんとげんきにすごしたいで
す。おとうさん、やさしいうそを
ありがとう。